

令和5年度 新潟市立大野小学校 学校教育ビジョン

教育目標 『 かしこく やさしく たくましく 』



重点目標1

主体的に学び、考えを深める子の育成

- 思考ツールを活用する場をつくることで、思考スキルを伸ばす。
- 学習課題を工夫し、追求意欲を高め、持続させる。
○既習とのすれ、友達の考えとのすれを生み出す。
○「なぜ」「どうして」を引き出す。
- 国語力アップタイム、学習・生活強調週間を実施する。
- ICT機器（タブレットPC）の活用能力を高め、対話の手段として効果的に使用させる。

重点目標2

互いに認め合い、高め合う子の育成

- 協働的な活動を工夫する。（縦割り清掃、運動会種目、縦割り遠足、委員会活動、クラブ活動、児童会活動等）
- 学級内の問題を協力して解決し、居心地のよい集団づくりをする学級集団を育てる。
- 年間を通じて生活目標の中に「相手や場に応じたあいさつやあたたかい言葉遣いを位置付け、習慣化を図る。

支持的風土の醸成

GIGAスクール環境を活かした教育活動のさらなる推進

重点目標3

誰もが安心して過ごせる学級、学校づくりの推進

- ユニバーサルデザインによる教室環境整備と授業を行う。
- 学級経営では、支持的風土の醸成を目指し、児童が互いに認め合い、助け合う学級づくりに努める。
- ソーシャルスキルトレーニングを行い、児童のコミュニケーションスキルを高める。
- 特別な支援を必要とする児童には、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成・活用し、個に応じた支援や合理的配慮を実施する。

学校運営協議会

- 家庭、地域への広報活動
- 地域の活動への教職員の参加



学 校
連携・協力・支援

- 地域教育コーディネーターを中核とした教育支援のための地域人材、保護者ボランティアとの協働

